新年のご挨拶

代表理事組合長
佐々木　福　栄

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、平成31年の新春をお健やかに迎えられたことと心よりお喜び申し上げます。

さて、昨今の農業情勢については、農家の高齢化や担い手不足等による農業生産力の低下、生産現場における労働力不足の深刻化、ＴＰＰ11や日ＥＵ経済連携協定の合意などにより日本の食・農業は国際化、グローバル化の流れに晒され、食料安全保障上、危惧される状況となっています。

そんな中、ＪＡグループ青森では昨年11月に行われた第28回ＪＡ青森県大会でＪＡグループ青森の目指す方向が決議され「農業と地域社会に根ざし、社会的役割を果たす」組織として、「10年後も元気な農業と地域を目指す」こととなりました。

ＪＡ八戸では、ＪＡグループ青森が掲げた目標をはじめ、以前から取り組んできた「農業者の所得増大への支援力発揮」「地域活性化への貢献力発揮」「ＪＡ八戸の組織・経営力発揮」の重点目標を更に促進する次期３カ年計画の策定にあたっています。また、政府は農協改革集中推進期間を平成31年５月までと定めているため、ＪＡグループとしても全国一斉に組合員アンケートを実施し、状況の確認をすることといたしました。このアンケートは、今後のＪＡを大きく左右するものとご理解頂くとともに、「自己改革」の内容等について皆様のご意見を確認し、より一層組合員の負託に応えるためにも重要だと考えておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

平成30年を振り返ると、全国的な異常気象、災害に見舞われた１年となりました。復興に尽力された方々に改めて敬意を払うものであります。当ＪＡ管内でも被害が見受けられる生産品目が多数散見され、復旧作業や防除対策など、作物の栽培管理にはご苦労されたことと思います。

今年度の農産物販売状況を見ますと、異常気象等あったものの11月末基準で前年対比１０２％と推移し、全体での最終的な見通しは、計画対比１００％と、農家組合員の結集と努力の賜物と感謝申し上げます。また、信用部門においても、地域の皆様の信頼を頂き、11月末貯金残高８５７億円と前年比2.1％増加の結果となり、今後更なる向上を目指しております。

１月15日には支店再編計画に基づき、川内支店と五戸支店が統合し新築移転オープンいたしました。また、平成31年度には老朽化や防犯面等の理由から南部支店と名川支店の移設統合が予定され、経営の合理化や効率化だけでなく、最新設備を活用した業務の高度化・専門性の強化を図り、組合員や利用者の皆様へ良質なサービスの提供とお客様満足度の向上に努めてまいります。

経済事業では、平成31年９月から導入される公認会計士監査に対応した内部統制への体制強化や、年々厳格化する会計制度に対応した購買事業利益の安定確保及び、資材渉外配置による農家組合員との繋がり強化を図ることを目的に、平成31年度より５グリーンセンターに再編することとしております。

平成31年も引き続き、組合員・地域の皆様が安心して暮らせるより良い地域社会を築くため、役職員一丸となり、全力を尽くして事業に取り組んでいく所存です。

新しい年が、組合員の皆様にとりまして輝かしい年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

代表理事組合長
佐々木　福　栄

代表理事専務
中　堤　利　雄

代表理事常務（信用専任）
高　見　憲　正

代表理事常務（営農担当）
山　美　喜　正

代表理事常務（経済担当）
庭　田　正　実

理事
蹴揚　福　男
小笠原　賢　一
畠　山　賢　悦
川　村　守　人
佐々木　孝　雄
水　越　善　一
山　内　正　孝
鈴　木　徳　治
馬　場　隆
石ヶ森　静　夫
畑　中　薫
小　原　良　洋
赤　坂　力　雄
土　橋　剛
本　木　裕　藏
野　中　京　子
市　村　文　子

代表監事
久　保　哲　男

常勤監事（員外監事）
向　山　健　悦

監事
川　村　富　雄
佐々木　一　榮
久　保　信　明

ほか職員一同